

発行：東京民主医療機関連合会
北中ブロック城北地域診療協議会
編集：医療と健康のひろば編集委員会
〒174 8502 東京都板橋区小豆沢1 6 8
健康文化会内
電話03 5994 0271
ファックス同上(自動切替)

2005年2月 第70号

それぞれの立場に寄りそ
う医療と介護をめざし、
連携を広げましょう

医療と健康の ひろば



明るくりハビリに励む

坂下診療所の近くの
都営住宅に住む谷崎芳
江さん(79歳)は、こ
れが四年前に亡くな
り、現在一人暮らしで
す。背中の骨の手術で
一年近く入院。補助杖
で少し歩ける程度で、

志村さつき苑の通所リ
ハビリ(デイケア)を
利用しています。毎
日、ヘルパーを利用し
て生活しています。月
人見知りがとても強い
だけけれど、みんなや
さしく、すんなりと溶
け込むことができたの
です。

谷崎芳江さん(79歳)
「志村さつき苑に高
島平から移りました。
人見知りがとても強い
だけけれど、みんなや
さしく、すんなりと溶
け込むことができたの
です。」

担当ケアマネージャ
ーは坂下診療所の太田
師長です。「室内や風
呂の手すりなど親身に
相談にのって手配して
くれました。新潟中越
さんです。」

地震の時、電話をくれ
て、通じなかつたら、
わざわざ訪ねてきてく
れたのよ。嬉しかった
。「楽しみは、水彩ペ
ンで絵を描くことだそ
うです。上手じゃない
けれどね」と見せてく
れた絵は心が温かにな
るやさしい絵でした。
障害があっても、明
るく前向きな谷崎芳江
さんです。

障害があっても前向きに

生きる

患者さん利用者 さんと心を結ぶ 医療と介護



訪問リハビリで発声の訓練をするAさん

リハに二日行っていま
す。高島平の通所リハ
ビリを、開所直後から
利用しています。前は
車椅子で移動していま
したが、一年前から、
杖で歩けるようになり
ました。

以前は無口な方だっ
たそうですが、営業の
仕事するようになって
から、よく話すように
なりました。ここでは、いろ
んな作業もや
るけれど、初
めてやること
は何でも楽し
いね」と前向きです。
奥さんと娘さんの三人
家族です。「娘はよく
面倒を見てくれるね」と
嬉しそうでした。
一本気で、明るい宗
添卓爾さんです。

通所リハビリテーションで元気に

宗添卓爾さん(65歳)



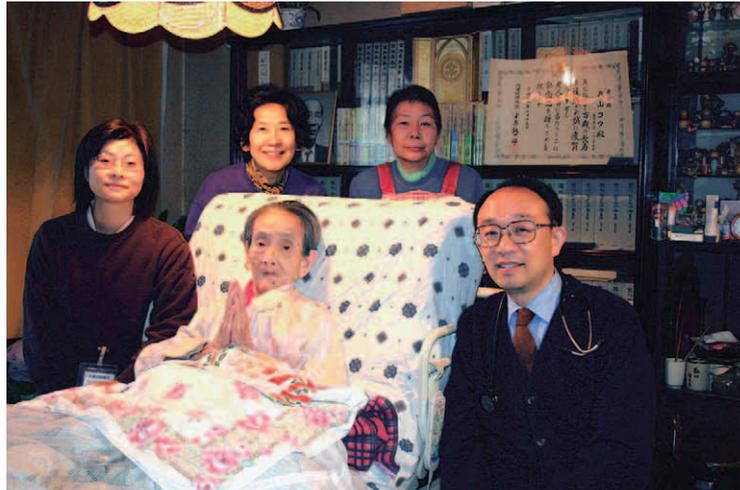
初めてやることは楽しいね

「月曜日
から金曜日
までリハビ
リに通って
いるけれ
ど、どうや
って休もう
としない
ました。」

「自分が大人になり、
親になり、親の苦労が
やっとわかるようになったよ」としみじみ語
ります。
鹿兒島・出水市から
二十代で上京しまし
ました。」

くよくよせず 百歳に

丸山コウさん(100歳)



石川医師往診時。左側立沢看護師、後列左娘さんと右ヘルパーさん

板橋区内に住んでい
る丸山コウさんは、明
治三十九年の生まれで
診は三年になります。

現在、介護度五で、
ベットの上での生活で
すが、目も良く、耳も
良く聞こえます。週二
回の訪問介護と訪問看
護ステーションから週
一回の訪問看護を利用
しながら、娘さんが、
介護をしています。

「コウさんに長生きの
秘訣を聞いたところ
「とくにない」との
返事でした。
娘さんは、「本連沼
診療所とあずさわ訪問
看護ステーションはと
ても連携がとれていて

本
年に助かります。昨
年の十一月に脱水症状
の時、あずさわ訪問看
護ステーションから看
護師さんが訪問して一
日置きに点滴をしてく
れました。石川先生や
世話になってる方た
ちにも「ありがとう
い、ありがたい」と言
いながら両手を合わせ
るんですよ。体調が悪
い時でも「きつと明日
は良くなるよ」といつ
もプラス思考なんです
よね。愚痴は一度も聞
いたことがありません。
童謡は私よりよく
覚えているんですよ」
と言います。
テレビが好きで、健

康・栄養番組が好みだ
そうです。お孫さんや
曾孫さんが遊びに来る
のが嬉しいとか。ベ
ッドの周りに、写真や
絵が飾られています。
明治、大正、昭和、
平成の時代を生きてい
る丸山コウさん。
やわらかな笑顔がと
ても印象的です。

三年前に脳梗塞と脳
内出血で倒れ一年程入
院しました。退院後は
自宅で療養生活を送っ
ています。気管切開し、
発声が難しい状態でベ
ッド上での生活です。
夫Bさんと同居の次
女が介護をしています
が、近所に
住む長女も
良く手伝っ
てくれるそ
うです。介
護度四で訪
問看護ステ
ーションふ
れあいの訪
問看護・訪
問リハビ
リ、近くの
出張マッサ

あ
の頃には比べると本当
に今は状態が安定し、
楽です」とここにこし
ながら話します。
「ケアマネージャ
ーは、宮島さんですが、
親身に相談にのってく
れて助かります。
本人は言葉が出ない
ので、もどかしいよう
ですが、みなさんにい
つも明るく元気づけて
もらっています。親や
兄弟みたいに接してく
れます。そのおかげで
す。発声や手足のリハ
ビリを終え、隣で微笑
ながらAさん。
笑いの絶えない温か
い家族に支えられ、元
気に療養しているAさ
んです。

家族全員に支えられて

E・Aさん(70歳)

頼りになる 小豆沢病院として

小豆沢病院
院長 井上 修一



小豆沢病院健康友の会の皆様、地域の皆様一〇〇五年を迎え、私も小豆沢病院と平和で活力にあふれる健康なまちを共に作っていきましょう。

村さつき苑」と連携を取っており、今年さらに地域の医療機関、福祉施設と連携を取り当院の機能を十分に発揮できるように進めます。また、昨今の厳しい労働環境の中「働く人たちの頼りになる医療機関」として存在感をだしていきたいと考えています。昨年、「病院機能評価」を受審し、井の中の蛙」にならぬようにと第三者に病院をみていただくことを積極的にに行いました。また、地域のお年寄りがいつまでも住み続けられるように、新しく竣工した介護老人保健施設、志

在宅患者さんが安心して生活できるお手伝いを

本運沼診療所
成瀬 義夫 医師



診療所が狭いアパートの一階に開設して早七周年になりました。初めはとりあえずスタートが大変だったと思い、

年位の気持ちで早く所長を引き受けたもので、往診や地域の実態についてわからないまま、スタッフに任せっぱなしの誠に頼りない所長だったと思えます。そのうち外科医として往診診療所、所長として何ができるか考え、その興味味を持っていたターミナルケア、緩和医療と往診を結びつけた形の在宅末期医療に取り組んでやろうと思いい、学習会に出かけたり、院内の症例検討会を開きながら手探りで始めたものです。現在、診療所は旧古屋耳鼻科医院に移り、事務長、パート事務一、看護師二名の立派な体制となり、夜間の緊急コールも看護師が受けてくれています。今年の抱負ですが、在宅の末期の患者さんの対応にさらに力を注ぎたいと思

夢と現実を見据えながら

練馬第一診療所
所長 矢田 毅



「今日、さんが来ていないわね」「病気なんじゃない？」外來の笑い話として有名なものですが、私の所、ペランダに増築してエレベーターをつけて、と本気で思っています。さ

最後に、もう成瀬は外科から手を引いて手術をしないという噂もあるようですが、そんなことはないです。痛くない痔の手術（PH法・三泊四日OK）、人工血管を使ったシヤントの手術など小豆沢病院外科で取り組むようになった手術には先頭をきってがんばっていますので、よろしくお祈りします。

心に残った言葉

練馬第二診療所
奈倉 志のぶ 医師



地域医療に携わって二十五年余り経ちます。最近聞いた言葉で今度一番心に残っているものがあります。

「今日、ちよっと様子を見てこよう」まで行けば申し分ないでしょう。病気でない人も来られる場を作れないかと考えています。もう一つ、練馬でもケアは如何でしょうか？医療と福祉、外來と在宅を結ぶ施設として練馬第一診療所のペランダに増築して、エレベーターをつけて、と夢は広がりますが、まず障

地域の診療所として

坂下診療所
所長 田口 保



このような表題をいただいたのですが、私には元々抱負というものがありません。従って診療所と患者さんについて思うところを述べます。以前私は、診療とは狭い意味、診療室の中でのしか考えていませんでした。ところが、友の会のみさんとお付き合いするようになって、いろいろなることを勉強せざるを得なくなりまして、今年も過ごしていきたくと思っています。

みなさんと共に力を合わせて

高島平診療所
所長 佐藤 達郎



高島平診療所は、移転後五年目を迎え、外來医療や訪問診療、通所リハビリテーションや居宅介護支援（ケアマネ）、そして隣接する訪問看護ステーション、ヘルパーステーションと一体となって、地域の医療と介護を支える施設として発展してきました。これは、何よりこの地域で、安心して暮らせるようま

進めたいと思います。また昨年は、イラク派兵、年金改悪と国民不在の横暴な政治、改悪が横行し、日本が「戦争をする国」への道が開かれ、また社会保障分野における国の公的責任の後退・放棄などが続く中、改悪をストップさせるため、みなさんと共に取り組みを進めてまいり、医療をめぐる情勢は、ますます厳しくなり、私たち診療所にとっても大変な年となりませんが、私たち職員一同、友の会のみさんや患者さんと共に力を合わせ、がんばる決意です。

2005年 地域にねざす 医療・介護を

さらに信頼される薬局を目指し

ユニオン企画(株)
社長 西 姫子



昨年、台風、大地震といった天災に次々と見舞われた大変な年でした。私も薬局で最も気がかりだったのは、景気の冷え込みや医療費の負担増で医療機関にかかれない人が多くなり、その結果、病状が悪化したり、手遅れになったりしていないだろうか、ということでした。ユニオン企画の薬の販売や病院の混合診療（自費と保険の併用）、解禁の動きが出ています。健康を守りたいなら自分でお金を出せ、ということですが、サプリメントが注目され、様々な健康情報がマスコミで話題になっていますが、根拠のある情報がどれだけの情報か、ということではない患者さんが増えていくと思います。私たちは病院・診療所と連携して通院している患者さまの健康を守ることが最も重要なことではないかと考えています。安全、安心、信頼できる薬局を目指し、さらに一層努力してまいります。

ユニオン企画・5薬局の一つとして

みどり薬局
事務長 栗原 邦枝



二〇〇五年、わたしたちは「みどり薬局」として設立して十九年目を迎えます。地域のかかりつけ薬局として頼りにしていただいていること、ありがとうございます。薬局でできることは、何でも聞いていただき相談にのることができるよう力を入れています。昨年より閉居時にも相談できるよう電話対応を開始しています。また在宅で往診を受けていらっしゃる方のご自宅を訪問し、おくすりの管理や服薬の指導も行っていきます。さて昨今の福祉政策の後退で病院に行

天災・人災のない平和な年になりますように

下赤塚診療所
所長 上田 真智子



昨年は私の急な入院でとちら様へも大変なご迷惑をかけたしまいました。改めてお詫言と御礼を申し上げます。その反省からスタッフ一同健康に気をつけて心

患者さんに、「ここに来ると心が安まる」と言われる暖かい診療所を作ることになると思っています（実際にうちのスタッフの挨拶の気持ち良さには宝物です）。私たちは今までの路線を守り、外來と健診と在宅医療を柱に、特に在宅に一段と力を入れていく予定です。

歴史に学び 平和を守る運動を

小豆沢歯科
所長 矢野 正明



昨年、私は全日本民医連の「平和と医療・福祉を学ぶアジアの旅」中国・ロシアに参加しました。日本が中国への侵略を開始した柳条湖事件。現在の

この医療機関が林立地区の中で、所謂近頃ちかちかの患者さんや多くの方々に支えられて診療を続けられる幸せを思い、これからも地元の方々に愛され頼りにされる診療所であり続けたいと思っています。

三部隊の跡も見てきました。日本軍が中国で細菌戦を行ったことはご存知でしょうか。今度、大量破壊兵器です。細菌実験や凍傷の実験などさまざまな人体実験が行われ、最後は殺されてしまいました。犠牲となった人は、三千人を越えたといわれています。過去の歴史を教えてください。今こそ歴史に学び平和を守る運動が求められています。

元気な地域づくりに役立つ施設に

介護老人保健施設 志村さつき苑
施設長 高亀 昂二



皆様の期待とご援助で去る九月一日に設立された志村さつき苑は、旧年中に入所、通所ともフル利用していただくようになりまして、まずはご協力に感謝します。新年を迎え、高齢者が地域で生き生きと生活できるよう、厚生労働省で目指している「健康文化会」は国民の生活権をうった憲法一十五条に由来するもので、

平和を守り社会保障を 充実させるために

健康文化会
理事長 石川 徹



明けましておめでとう。ごさい。昨年、健康文化会は友の会の皆様はじめ多くの方のご援助により介護老人保健施設「志村さつき苑」を開所させていただきました。わたしたちの法人にとっては二十数年ぶりの大きな施設の展開

でした。関係の方々にごめとお礼を申し上げるとともに引き続きのご協力を願います。厚生労働省で議論されている介護保険の見直しの内容や障害者に対する取り組み、必要あれば家庭環境を整えること、

「弱者切り捨て」の政策をみてみると、憲法に保障された国民としての基本的な権利が本当に危ういものになっていると感じます。これは憲法九条改悪の動きと表裏一体になっており、断固として許すことはできません。平和を守り社会保障を充実させるために今年一年ともががんばっていきましょう。



二〇〇四年度 城北地域診療圏 医療・介護活動交流集会

今 私たちにもとめられて いるもの 人権・医療・介護

12/22

実行委員会事務局長 小豆沢歯科事務局長

鈴木 啓

この集会は、各職場 開催されました。 委員会で一年間の 取り組みをまとめるこ とで自分たちの到達点 や学んだことを振り返 り、職場単位だけでな く、健康文化会と薬局 関連のユニオン企画全 体で問題意識の共有や 学ばあつことを目的に



患者様の実態を報告する 高島平診療所の岡崎さん

職場から十九の演題が 出され、その中から、十 演題が発表されました。 病院機能評価受審に むけての取り組みにつ いて報告した小豆沢病 院をかきりに、みど り薬局で患者様宅を訪

問し、薬の服用改善に つながった報告、歯科医 師から三年目研修のま とめなどがありました。 患者様や利用者様の 要望をどのように業務 改善につなげるか、ア ンケートに取り組んだ 内容を小豆沢病院三階

病棟、訪問看護ステー ション、小豆沢病院外 来から報告されたのも 特徴の一つでした。ま た、高島平診療所から 八十代の兄弟三人を粘 り強く支援し、行政に も働きかけ、生活保護 の取得、受診につなげ たことが報告され、参 加者に感動を与えまし た。この集会には、職 員と友の会

練馬第一診療所健康友の会 子育て交流会

12/25

週二回交流会を開いて いるサークルです。 つやまのためきさん 今日、楽しいクリ スマス会に参加者は親 子十組で三十人以上の

参加でした。げんこ 手遊びや「ゆき」な ど大きな声で歌いな がら手作りマラカスで

演奏し、楽しみました。 はるばる北の国から 来た(?)サンタの登 場に子どもたちは歓声 をあげて大喜び。 サンタは、一人ひと りと握手し声をかけな がらプレゼントを手渡 しました。

お母さんたちが焼く フランクフルトをほお ぱり、お弁当を食べた りでお腹も満腹。 ピンゴゲームも楽し んだクリスマス会でし た。

にぎやかに クリスマスおたのしみ会



みんなで楽しく歌と楽器演奏

サンタさんと一緒にはいポーズ!



熱心に聞く参加者

の方々に 参加しまし た。年末の あわただし い中、寒い 中来ていた だいたの友 の会員の皆 様ありがと うございま した。

新春雑詠

被爆者練馬の会

会長 志賀 義隆(華翠)

短歌

・被爆して 六十年の春なれど 世界にはびこる 核兵器の数
・新春の 空仰ぎ見る 嬉しさよ 老いて健やか 家族との愛

俳句

・九条へ 願いをこめて 初詣で
・人生に なお希望あり 老いの春
・元日や 生きる喜び かみしめぬ

ひろば クイズ

ひろば67号クイズの 解答は「どくしよしゅ うかん」でした。 次の方々に図書券を お送りします。

- ・練馬区 竹之下麻起 子さん
・練馬区 向井宏幸さ ん
68号クイズまちがい 探しの解答は次のとお りです。
①右の筆立て
②描いている絵の中の 女性の足
③描いている絵の中の 女性の顔
④描いている絵に中の 右側の背景
⑤花瓶の模様
⑥掛けてある絵の向き
⑦犬の顔
次の方々に図書券をお 送ります。

- ・板橋区 藤田朱音さ ん
・板橋区 刀禰富子さ ん
・板橋区 木村恵子さ ん
・板橋区 秋吉絢子さ ん
・北区 藤本富美さん
・北区 浅比美栄子さ ん
・練馬区 向井幸子さ ん

ハガキで一言

●小豆沢病院にお世話 になるようになってか ら、二十年ほどになり ます。八月の末には入 院し、手術したばかり です。病院は私の生活 の一部、いつも親切に してもらっています。 ●いつもためになるこ とが書いてあり、とて も勉強になります。こ れからもがんばってこ ださい。

クイズ まちがいさがし

上と下の絵でまちが っているところが七カ 所あります。 応募方法

解答、住所、氏名、 年齢、電話番号を記入 し、ハガキの余白に感 想など必ず書いて、ひ ろば「クイズ娘」宛ま でお送りください。 締め切りは三月五日

